

令和2年度 総社市立池田小学校 学校評価資料

様式【学校評価資料】

A:達成している B:概ね達成している C:あまり達成していない D:達成していない

池田小学校

学校経営目標	具体的計画	令和元年度の達成基準	自己評価(中間)			自己評価(最終)			学校関係者評価
			達成状況	評価	改善策	達成状況	評価	改善策	自己評価の適切さ
1 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育む児童の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上に向けた校内研究と研修の充実を図る。 ・家庭学習の定着を図る。 	学校アンケート ○授業は分かりやすい「分かりやすい授業にするように心がけている」と回答する児童・保護者が90%以上 ○宿題など、家庭学習をきちんとしている「子どもは家庭学習にきちんと取り組んでいる」「学校は、子どもたちの家庭学習の習慣化に努めている」と回答する児童・保護者・教職員が90%以上	「授業は分かりやすい」「児童100%」「分かりやすい授業をするように心がけている」保護者100% 「家庭学習をきちんとしている」児童90% 「家庭学習にきちんと取り組んでいる」保護者89% 「家庭学習の習慣化に努めている」教職員91%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の朝学習(15分間)音読・計算・漢字を継続的に行う。また、取組状況を全教職員で共有する。 ・個々に応じた家庭学習(自主学習)の内容を精選する。また、懇話等を通して、家庭と共有し、学習習慣の定着を図る。 ・全教員が研究授業を行い、授業力向上を図る。また、ミニ研修を定期的に行う。 ・「おすすめの本」を紹介し合うなど、進んで読書したくなる取組を行い、読書量や読書時間を増やす。 	「授業は分かりやすい」児童100% 「分かりやすい授業をするように心がけている」保護者100% 「家庭学習をきちんとしている」児童93% 「家庭学習にきちんと取り組んでいる」保護者76% 「家庭学習の習慣化に努めている」教職員100%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員による国語科を中心とした教科研究や学力向上等の研修を実施し、授業力の向上に努めてきた。朝学習の取組を継続して行う。 ・今後も、家庭学習の内容を工夫し、学習習慣の定着を図る。また、保護者に内容や現状・成果等を定期的に伝えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価は適切であるが、A評価が付けづらいのか、厳しく見てB評価にしている。 ・研究、研修した成果を詳しく記述すること。 ・家庭学習ができていない子どもへ継続した指導を。
		学校アンケート ○「友だちやグループで活動する授業は楽しい」と回答する児童が90%以上 ○「進んであいさつをする」「進んであいさつをしている」と回答する保護者・児童が90%以上 ○「正しい言葉づかいをできるように努めている」と回答する児童が90%以上 ○「学校は、いじめ、暴力のない学校づくりに取り組んでいる」と回答する保護者が90%以上 ○「いじめやなまはしれをしないで、仲良く生活をしている」と回答する児童が90%以上	「友だちやグループで活動する授業は楽しい」児童100% 「正しい言葉づかいをするように努めている」児童100%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・協同学習や縦割り班活動等を通して、良好な人間関係づくりに努める。また、人間関係スキルを養うために、SELを計画的に実施する。 ・人権週間中の行事や各学級での取り組みを効果的に活用し、平素の学級づくりに生かす。 	「友だちやグループで活動する授業は楽しい」児童96% 「正しい言葉づかいをするように努めている」児童96%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の取組を継続する。SELを計画的に実施することで、人間関係スキルを高める。 ・協同学習や縦割り班活動等を通して、良好な人間関係づくりに努める。 ・品格教育や道徳教育の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は適切である。 ・品格教育や道徳教育の成果を人権参観日や学習発表会等で発表してはどうか。 ・児童の挨拶はまだまだである。誰に対しても自然に挨拶ができるようになってほしい。家庭の教育が大きい。 ・挨拶など、家庭の中で指導できていたことが難しくなっている。これからも、学校・家庭・地域で連携して行っていく。
		学校アンケート ○「子どもは、よい生活習慣が身についている」と回答する保護者が90%以上 ○「体育の時間や休み時間に運動をするのが好きだ」「学校は、体育科の学習や体育的行事を中心に、子どもたちの体力づくりに努めている」と回答する児童・教職員が90%以上 ○「英語を使って、話したり、読んだり、書いたりするのが好きだ」「子どもたちは、外国語活動や英語の学習に意欲的に取り組んでいる」と回答する児童・教職員が90%以上	「よい生活習慣が身についている」保護者100% 「運動をするのが好きだ」児童97% 「子どもたちの体力づくりに努めている」教職員82% 「英語を使って、話したり、読んだり、書いたりするのが好きだ」児童93% 「子どもたちは、外国語活動や英語の学習に意欲的に取り組んでいる」教職員91%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生活点検カード(いきいきカード)の結果を家庭と共有し、基本的な生活習慣の見直し、改善を図る。 ・川崎医療福祉大学との連携し、体力・健康づくりを推進する。 ・新体力テスト(1回目)の個人データから、自分の体力を知り、楽しみながら体力を高めるようにする。 ・トップアスリート(ファジアーノ岡山)との交流を通して、体力・健康づくり、夢への挑戦などについて考える機会を設定する。 	「よい生活習慣が身についている」保護者96% 「運動をするのが好きだ」児童100% 「子どもたちの体力づくりに努めている」教職員100% 「英語を使って、話したり、読んだり、書いたりするのが好きだ」児童96% 「子どもたちは、外国語活動や英語の学習に意欲的に取り組んでいる」教職員83%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の活動を継続する。大学と連携し、体育学習の充実を図る。 ・今後も、生活点検カード(いきいきカード)を有効に活用し、基本的な生活習慣の見直し、改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は適切である。 ・スマホ等メディアの利用や挨拶については、家庭でのしつけとして話をしてほしい。生活習慣はあくまでも家庭である。 ・夜9時以降にスマホをしている児童がいる。中学ではスマホによるいじめ等の問題も発生している。小学生の時からスマホ使用の時間を守る習慣が必要である。 ・大学と連携した取組は、今後も継続して進めてほしい。体育特区として特筆できる成果を今後も望む。

2
安全・安心な学校環境、さげらげら学校

3
明るく職場気分あり